

「統合失調症と双極性障害の遺伝子解析研究」に対するご協力をお願い

— 平成 18 年 10 月 31 日以降に間に、統合失調症と双極性障害の治療を受けられた方へ —

研究責任者	獨協医科大学精神生物学講座	教授	秋山 一文
研究分担者	獨協医科大学精神神経医学講座	教授	下田 和孝
	獨協医科大学精神神経医学講座	准教授	尾関 祐二
	獨協医科大学精神神経医学講座	学内准教授	藤井 久彌子
	獨協医科大学精神生物学講座	非常勤講師	齋藤 淳
	獨協医科大学精神生物学講座	大学院生	齋藤 聡

このたび本学では、上記の病気で加療されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、研究責任者までご連絡をお願いします。

1. 研究の目的 及び 意義

本研究の目的は、獨協医科大学病院精神神経科に外来通院中または入院中の統合失調症と双極性障害の患者さんと健常対照者の御協力を得て、DNA 試料を集め、病気へのかかりやすさや症状との関係を調べることです。統合失調症、双極性障害などの「心の病」が発症する確率は、一生の間に 1% で、これらはごくありふれた病気です。世界保健機関が試算した疾患がもたらす人類への被害推計によると、生命と人生の喪失量は全疾患中うつ病 1 位、双極性障害 6 位、統合失調症 9 位、経費は統合失調症 2 位、双極性障害 5 位、うつ病 10 位と報告されています。「心の病」の原因を解明し、治療と予防法に役立てることへの取り組みは意義あるものと考えられます。統合失調症、双極性障害はその他の一般的な病気と同様に発症しやすい「素因」と環境要因との相互作用によって発症するらしいことは、いろいろな研究によって推定されています。ここでいう「素因」とはごく小さな効果を有する遺伝子（これをリスク遺伝子といいます）が多数あり、それらが集まって関与することを指します。ほとんどの「心の病」の成り立ちにはこのような多数の遺伝子が複雑に関与していると考えられています。そのうちの 1 つでも解明されるならば、発症のメカニズムが解明されると期待されています。リスク遺伝子の解明が進み、新しい治療法や予防法が開発されるならば、多くの患者さんや社会への利益をもたらすと考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成 18 年 10 月 31 日～平成 32 年 3 月 31 日の間に獨協医科大学病院において、統合失調症と双極性障害で治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究実施期間

平成 18 年 10 月倫理委員会承認後 ～ 平成 32 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記 1) の研究対象者について、研究責任者がゲノムに関する分析を行い、リスク遺伝子の仕組みについて調べます。

4) 使用する試料・情報

研究に使用する試料・情報として、すでに保存されている血液から抽出した DNA 100ng を使用いたします。また、カルテから以下の情報を抽出し使用いたします。

・年齢、性別、臨床所見、治療内容、検査データ

3. 外部への試料・情報の提供

双極性障害の患者さんの DNA とそれに付随した情報は研究責任者の秋山 一文が加盟しているこの分野での国際的な研究組織である ConLiGen (The International Consortium on Lithium Genetics) <http://www.conligen.org/> (代表者: Thomas G. Schulze (Professor, Institute of Psychiatric Phenomics and Genomics, Ludwig-Maximilians-University Munich, Munich, Germany)) に提供します。ConLiGen は双極性障害の第一選択薬とされる炭酸リチウムがどのような患者さんに効きやすいかを調べており、もしこれが明らかになれば双極性障害の治療に大きく貢献すると考えられます。ゲノム及び情報の提供は特定の関係以外がアクセスできない状態で行います。対応表は本学の標本保存管理室が保管・管理します。

4. 研究組織

研究を実施する全ての共同研究機関

ConLiGen (The International Consortium on Lithium Genetics) <http://www.conligen.org/>
Thomas G. Schulze (Professor, Institute of Psychiatric Phenomics and Genomics,
Ludwig-Maximilians-University Munich, Munich, Germany)

「既存試料・情報の提供のみを行う機関」 医療法人生々堂森病院 森玄房 (院長)

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

研究代表者 (研究責任者)

獨協医科大学精神生物学講座 教授 秋山 一文

電話: 0282-86-1111 内線 2122

以上